



家庭教育セミナーのご報告

★家庭教育セミナーとは 親や子どもに関わる大人が、家庭や地域の課題を解決し、教育力を高めることを目的として、市内公立小・中学校のPTAが企画・運営を行っています。費用は無料です。開催校の保護者、近隣住民の方、セミナーに興味のある方、**どなたでも参加できます**。令和元年度は、市内小・中学校9校で開催されました。

◆◆◆今年度で開催された家庭教育セミナー◆◆◆

1 生きる力を育む子どもの話を聴くコツ講座

実施校・実施日：布田小学校・10月25日（金）

講師：高橋 ライチ氏

（コミュニケーション・カウンセラー）

【印象に残った講師の言葉】

◇意外と使える「オウム返し」。コツを覚えれば効果的に。

（1）イメージをする （2）気持ちを乗せる

◇必要なサポートは、先回りではなく後フォロー

聞く(hear)、訊く(ask)、聴く(listen)の違い

◇言葉でなく気持ちを受け止める。気持ちの奥にある望みに共感する。



4 子どもの未来を創る

～身体と心の健康教育～

実施校・実施日：深大寺小学校・11月9日（土）

講師：宗定 由子氏（看護師、デトックスコーチ）

【印象に残った講師の言葉】

◇イライラするのは肝臓からのサイン。

肝臓は「怒りの臓器」とわれている。

◇知識を持つことは自分の身を守ることにつながる。

◇健康な体、健康な心「健体康心」、美しい身体には美しい心が宿る。

◇心配を手放したら子どもはすくすく育つ。



2 子どもとのコミュニケーションが深まる色の使い方

実施校・実施日：第三小学校・10月29日（土）

講師：小泉 千亜紀氏

（カラーセラピスト/Felice Luce 主宰）

【印象に残った講師の言葉】

◇色にはどれも、良い色・悪い色というのではない。どれも違って素敵。

違いを認め合って生きていくというのも色育の一つのコンセプト。

◇色は文字よりもわかりやすく、客観的に見ることができる。「今の気分は何色？」と問うことで、その色のもつイメージを知り、自分や子どもの状態やこれからの変化などがわかることがある。



5 “多角的に見る”子どもの成長におけるスポーツの役割

実施校・実施日：石原小学校・12月14日（土）

講師：加治前 竜一氏（元読売巨人軍選手、

現三菱日立パワーシステムズ株式会社硬式野球部コーチ兼選手）

【印象に残った講師の言葉】

◇スポーツをお勧めする理由

①規則正しい生活を構築する。基礎代謝の向上。

②オンオフの切り替えを身に着けることができる。

③協調性・コミュニケーション能力の向上。

◇こだわるところは、結果じゃなくプロセス！



3 60点でも伸びる子、90点なのに伸び悩む子

実施校・実施日：第一小学校・11月5日（火）

講師：相澤 樹氏（花まる学習会事業部長）

【印象に残った講師の言葉】

◇変化に対して自由に自分で決めて判断する。

自ら考えたことをやってみて、失敗しても良い。

◇日ごろから家庭内で言葉のキャッチボールを意識すると良い。

◇特に思春期は、身近な存在より昔にさかのぼった接点のある人の意見の方がすんなり心に入る場合があるため、困った時は外の師匠に頼る。



6 じょうぶな子どもを作る基本食

実施校・実施日：若葉小学校・12月14日（土）

講師：幕内 秀夫氏（フーズ&ヘルス研究所代表）

【印象に残った講師の言葉】

◇子どもの食事は70点を目指す。

（100点でなくてよい。）

◇無理に子どもの好みに合わせなくてよい。

◇米食を中心とすることで、全体的な食生活の改善につながる。

◇子どもは「生きるため」に食べる。

美味しさと快楽を求める大人と同じものを食べる必要はない。



家庭教育セミナーの参加者募集は、市報・ホームページ・本紙「コラボ」などでお知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。